

HCU の看護研究に関する説明文書
HCU での褥瘡予防に向けた取り組み
～HCU 入室直後からスモールチェンジ法を取り入れて～

1. 目的

HCU 入室直後の患者にスモールチェンジ法を用いて、褥瘡予防に努める研究を行います。今回の研究を実施するにあたり、2019年4月1日から2021年3月31日までの3年間に HCU に入室し褥瘡発生した患者のデータを比較させていただきます。

研究のデータとして、同意を得られない方は下記にご連絡ください。

2. 対象患者

2019/4/1～2021/3/31 の3年間の HCU 入室中に褥瘡が発生した患者

3. データの収集内容

- 1) 褥瘡発生部位
- 2) DESIGN-R* 深達度
- 3) 褥瘡治療日数 褥瘡転帰
- 4) 自立度
- 5) 血液データ (TP Alb Hb)
- 6) 病名 術式 手術時間 HCU 入室からの期間
- 7) 治療内容 (カテコラミンの使用 酸素 医療機器使用)
- 8) BMI
- 9) 拘縮の有無 失禁の有無 浮腫の有無

上記についてのデータを取り扱わせていただきます。

4. 不利益やプライバシー保護について

- ・研究対象者にかかわるデータを取り扱う際は、HCU ナースステーション内のみとする。
- ・収集データは個人が特定されないように記号化し管理する。
- ・データは研究終了まで鍵のかかるロッカーに保管し、鍵は研究者が管理する。
- ・データで発表する際は、個人が特定されないように編集する。
- ・電子化した収集データは看護研究用の USB に保存し、鍵のかかるロッカーに保管する。
- ・研究対象者が、研究の実施または継続の全部または一部に対する拒否の意向を表した場合には、その意向を尊重するように努める。
- ・本研究は自由意思であり、参加しなくても不利益は被りません。

5. 成果の公表

本研究は院内、院内外で発表させていただきます。

【お問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
HCU 看護師：野口優衣 看護師長：池上良子
TEL：0748-22-3030 (代表)
FAX：0748-23-3383 (代表)